

第67回北見地区吹奏楽コンクールで金賞受賞！ 津別中学校吹奏楽部が初の全道大会へ出場

8月2日に開催された第67回北見地区吹奏楽コンクール中学生A編成の部において、美幌町立美幌中学校22名、美幌町立北中学校13名、津別町立津別中学校9名、計44名による合同バンドが出場しました。課題曲「Rhapsody ～Eclipse」（大島ミチル）、自由曲「ル・シャン・ドゥ・ラムール・エ・ドゥ・ラ・プリエール（愛と祈りの歌）」（松下倫士）を披露。見事金賞を受賞し、代表となりました。

8月30日に札幌コンサートホール Kitara で開催される全道大会では、同部門において全道から25校が出場し、中学校にとっては初の全道大会出場となります。生徒たちの挑戦に、大きな期待と応援が寄せられています。



▲「かわ塾」で網走川を散策(南アルプス市)



▲ラフティングを楽しむ子ども達(船橋市)

青少年交流事業で 夏の思い出づくり

南アルプス市・船橋市・津別町青少年交流事業

7月24日から26日にかけて、南アルプス市・津別町青少年交流事業が実施され、南アルプス市から20人の子どもたちが津別を訪れました。網走川では多自然川づくりの専門家である講師の妹尾優二氏による「かわ塾」が開かれ、網を使った魚の捕り方や川にすむ生き物について学びました。他にも町内農家の協力を得てトマト等の収穫を体験し、津別の自然や食の魅力に触れながら町の子どもたちと交流しました。

8月3日から6日には船橋市・津別町青少年交流事業も行われ、28人の子どもたちが来町しました。網走川でのラフティングでは力を合わせて川を下り、迫力ある体験を楽しみました。また、NPO法人森のこだまの上野真司氏を講師に招き、木を使ったキーホルダー作りにも挑戦。自然の恵みを活かしたもののづくりを通じて、子どもたちは親交を深め、忘れられない夏の思い出をつくりました。



かき氷早食いで大盛り上がり！

つべつ納涼盆おどり大会

8月15日、つべつ納涼盆おどり大会が開催されました。

会場にはおもちゃ屋やスマートボールなどの出店が並び、仮装盆おどりコンテストや名物のかき氷早食い大会も行われ、会場は熱気に包まれました。



行灯の灯りに包まれる七夕の夜

第12回つべつ七夕まつり

8月2日、つべつ七夕まつりが開催され、町民が手作した132個の行灯のやさしい光が会場を包み込みました。

山鳴太鼓保存会の迫力ある演奏や音楽ライブ、バルーンアート、手持ち花火など多彩な催しも行われ、訪れた人々は夏の夜を存分に楽しみました。

新給食センター完成 給食試食会を実施

津別町学校給食センター落成式・給食試食会

8月1日、津別町学校給食センターの落成式が執り行われました。式では来賓のあいさつに続き、関係者や町内小・中学校、高校の代表らで、テープカットを行ない、多くの関係者と完成を祝いました。

新センターは津別小学校に併設された木造平屋建てで、延床面積約652㎡、総事業費は10億7,767万円。調理能力は1日400食で、学校給食衛生管理基準に基づく「ドライ方式」を導入しています。さらに、食物アレルギーに対応した専用調理室や、調理の様子を見学できるスペースも備えるなど、安全・安心で開かれた施設づくりが特徴です。

落成式後には施設の内覧会が行われ、8月6日から8日の3日間、給食の試食会も実施。150名を超える町民が参加し、新しい給食の味を楽しみながら完成を祝いました。

※ドライ方式：調理場の床を乾燥状態で衛生面の向上を図る



▲テープカットで完成を祝う



▲給食試食会の様子